

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0190201202), 法人名 (社会福祉法人 豊生会), 事業所名 (グループホームひかりの家), 所在地 (札幌市東区東雁来12条4丁目1-12), 自己評価作成日 (令和2年12月28日), 評価結果市町村受理日 (令和3年3月24日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご入居者様が個々に送ってきた生活を大事にするために生活歴や趣味など、細やかな情報収集を行いながら、楽しみのある生活を送ることができるよう、自己選択の視点を忘れずに個人に合わせた活動提供を行っている。
・施設内に併設している、ひかりの保育園や小規模多機能型居宅介護事業所ひかりのや同敷地内にある特別養護老人ホームと交流を積極的に行いながら、ご入居者様に楽しみや刺激のある生活を送っていただけるよう支援している。
・ユニット内の装飾や行事を工夫し、季節感を感じながら生活を送れるよう支援している。
・医療との連携(訪問診療や訪問看護)を密に取り、ご入居者様の小さな体調変化も見逃さずに安心した気持ちで生活を送れるよう支援している。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0190201202-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和3年1月20日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Empty table box for external evaluation comments.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff/user interactions.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・職員がいつも目に付くスタッフルーム掲示し周知されている。 ・事業計画に盛り込まれ実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会のごみ拾いなどの活動に参加している。 ・運営推進会議や消防訓練に参加していただいている。 ・保育園や小多機の利用者様と交流していた		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・法人として認知症カフェなどを実施している。 ・認知症研修オレンジリングなど行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・取り組み状況の報告や地域情報の収集、ご家族から意見を伺いサービス向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの職員に運営推進会議に参加いただき、協力いただいている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会や不適切ケアアンケート、身体拘束や虐待防止の研修など実施している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待についての研修を実施している。 ・虐待防止委員会を設置している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・管理者・職員は制度のについて理解はある。実際に制度を活用できる体制がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居時重要事項説明書を示しながら説明と同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議にて意見や要望があった際は運営に反映させている。 ・意見や要望があった時は出来る限り反映させられるように実践している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・年に1回職員にアンケートを実施し意見や提案する機会がある。 ・年2回管理者やリーダーと面談の機会がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・年2回人事考課を実施している。 ・リフレッシュ休暇制度がある		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・各種研修の機会がある。 ・教育委員会が設置されている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・研修等に参加できる体制になっている。 ・研修参加の推奨をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入居時や日常の中でご本人に丁寧なヒヤリングや観察を行っている。 ・都度不安や思いを傾聴し出来るだけ安心できる様に支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居時にはご家族様からしっかりお話を伺い、要望があれば対応し関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ニーズを把握し必要な支援は何か意向は有るか確認している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・なじみの職員と共に家事活動などを行っており感謝を伝えている。 ・ご本人の意見を尊重しながら関わっている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族と外出している方がいる。 ・お正月に居室にご家族様が泊まれる環境がある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・コロナの影響で機会が制限されているが、面会、外出、外泊は常に受けている。 ・他施設に入居されているご家族と会う機会を提供して。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・関係性を見ながら交流を促している。 ・孤立しない様支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・必要に応じて相談支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・アセスメントを取りケアプランに沿ってお一人お一人の暮らし方に合わせた支援をしている。 ・日々の関りからさりげない言葉などを記録に残しケアにつなげている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・アセスメントシートやDTアセスメントシートを活用しこれまでの暮らしを継続できる様支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・細目な観察を行い現状を把握できる様にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご本人、ご家族からの意向や日々のケアの実施評価、専門職からの意見を参考にして介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケアプランに沿った個別記録となっており計画に反映されている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・ご本人やご家族のニーズを把握できる様にコミュニケーションを図っている。 ・ニーズに合わせた対応をしている。 ・一人一人のニーズに合わせたケアプラン作成をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・小規模多機能の利用者様や保育園児等と交流している。 ・上記の方達と畑での共同作業をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・月2回の訪問診療を受け診察上の指示や病状に合わせた処方がされている。 ・ご家族の要望を聞きながら医療に繋げている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の訪問看護を受け体調管理が出来ている。 ・24時間緊急時も連携が取れる体制が出来ている。 ・相談する体制が出来ているため細目に状況説明している。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時は、情報提供を行いカンファレンスに参加し連携・調整が取れている。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に重度化した場合における指針の説明・同意を得ている。 ・主治医による看取りカンファレンスに同席し緊急時や終末期の意向確認をしている。 ・チームで今後の対応等検討しケアを実施している。 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDを設置している。 ・緊急時マニュアルがあり確認している。 ・アクシデント発生時や緊急時のフローチャートをスタッフルームに掲示している。 ・緊急時対応の研修を実施している。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時や水害時、夜間想定訓練を実施している。 ・定期的に避難訓練を実施している。 		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケア奉仕のマニュアルがありスタッフルームに設置している。 ・年1回不適切ケアのアンケートを実施しケアを振り返る機会がある。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様が選べる様な声かけや行事の実施をしている。 ・自己決定が難しい方には思いを汲み取れるよう日々観察している。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・常に入居者本位を心がけ支援している。 ・都度声かけ、傾聴をして希望を伺っている。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・お誕生日や行事の際はメイクしている。 ・更衣時は衣服を選択していただいている。 ・毎日お化粧している入居者様もいる。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・通常時は入居者様にテーブル拭きや食器洗い・茶碗拭き・おやつ作りをお手伝い頂いているが、コロナ対策の為現在は中止している。 ・行事食など季節や要望に合わせて提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事摂取量・水分摂取量を確認し足りない時は提供を工夫している。 ・食事形態や提供内容の工夫をして摂取量が増えるようにしている。 ・朝食を食べない週間の方には夜に補食を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後口腔ケア実施している。 ・歯科往診にて口腔ケア方法指導を受けている ・歯科衛生士による口腔ケアがあり指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・トイレで排泄を基本とし心地よい排泄をができるように支援している。 ・一人一人の排泄間隔や尿量を把握し自立に向け支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・食事や水分の摂取量を把握し下剤調整している。 ・毎日体操を実施し身体を動かし自然な排便を促している。 ・乳製品の提供等水分提供の工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・入浴日は決めず体調や希望に合わせて入浴している。温度調整や入浴剤を使用するなどの対応を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・生活習慣や状況に応じて休息出来る様支援している。 ・心地よく眠れるように環境の整備や清潔の保持に留意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・居宅療養管理指導にて内服時の注意点や副作用等について指導を受けている。 ・状況の変化に合わせて内服時の支援方法を変更している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・お一人お一人役割を担っていただけるよう、得意なこと好きなこと等情報を収集し実践している。 ・家事活動等実施していたが現在はコロナ対策の為中止している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・喫茶店や公園までの外出、お花見等実施していたが今季はコロナ対策の為中止している。 ・コロナの為外出できないので室内を野外風にしてビアガーデンやお花見を実施した。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣いは職員が管理している。 ・ご自身のお財布は金庫にて管理し、必要時お渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・近況報告時、ご本人に電話を替わりお話し之机を設けている。 ・手紙やはがきが届いた際は自身で読めない方には代読している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・心地よい音楽や光量、室温、湿度になる様調整している。 ・季節を感じる事が出来るようにリビングの設えをしている。 ・トイレやリビングに匂いが籠らない様にゴミ処理の工夫や換気を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室や自席の他にソファ席やセミパブリックスペースがあり、思い思いの場所で過ごす事が出来る。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居の際は使い慣れたなじみの家具や思い出の写真、仏壇等を設置できる様ご家族と相談しながら本人が心地よく過ごせるようにしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・一人ひとりに合わせ、トイレや居室などにわかり易い目印を付けるなどの工夫を行っている。 ・動線上に障害物が無いよう安全に配慮している。		